

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	その他	市の事業に大学等が協力	八王子の魅力を発見・発掘し、その魅力を今後どう活かせば、八王子が更なる魅力あるまちになるかを考える「大学生による八王子の魅力発見ワークショップ」を実施。	11月10日	八王子の魅力発信にあたって、市内大学等に在学する大学生の意見や考え方を聴くことで、シティプロモーション基本方針の策定に活用する。	特になし	工学院大学、帝京大学、杏林大学、創価大学、創価女子短期大学、拓殖大学、中央大学、東京工科大学、上智大学、東京純心女子大学	
2	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子の魅力や効果的な発信方法について意見交換を行う「八王子シティプロモーション戦略に関する懇談会」へ、学識経験者として大学教員に参加を依頼。	10月1日～ 3月31日	観光学・デザイン学の学識経験者に、八王子の魅力発信について意見をうかがい、シティプロモーション基本方針の策定に活用する。	特になし	杏林大学 拓殖大学	
3	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	「シティプロモーション」についての職員向けの研修を実施し、学識経験者として大学教員に登壇を依頼。	10月15日	シティプロモーション推進に関する第一人者に講演を依頼することで、シティプロモーションについての職員の理解を深め、意識向上をはかった。	特になし	東海大学	
4	都市戦略部 都市戦略課	法政大学団地再生ワークショップ	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	多摩地域交流センターからの依頼により、大学周辺に点在する団地の地域コミュニティの再生に向けて、大学と自治体、住民協働の取組を検討するワークショップに、本市から関連所管職員8名が参加。	5月～7月 (全3回)	今後は学生が具体的な取り組みを行う際、必要に応じ関係所管との橋渡しを行い、より緊密な連携をはかる。	特になし	法政大学(多摩地域交流センター)	
5	都市戦略部 自治推進課	中核市推進	その他	市の事業に大学等が協力	ポスターを作成し、移行を広く市民に周知することで中核市についての関心を高める。	約半年	ポスターを掲示することで、学生にも中核市についての関心を持っていただき、出前講座や地域説明会への参加につながる。	特になし	地域23大学	
6	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	「銅版画家清原啓子の宇宙」展ギャラリートーク	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	夢美術館が収蔵する銅版画についての調査及び展覧会会場での講義及び銅版画製作実演。	12月6日	1. 大学教員の研究成果及び大学設備を活用することができる。	特になし	多摩美術大学	版画研究室
7	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生フォーラム	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	市民に対し、多文化共生意識の啓発を図るためのフォーラムを開催。基調講演を帝京大学教授に依頼。パネルディスカッションのパネリスト及び企画・運営委員に留学生、日本人学生が参画。ポスターはサレジオ高専にデザインを依頼。	1年	1. テーマに精通した研究者の話が聞けた 2. 留学生の地域貢献 3. 若い感性を取り入れたポスターができ、集客につながった	特になし	1. 帝京大学経済学部 2. 地域23大学等 3. サレジオ高専	河野教授 留学生

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
8	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際理解講演会	多文化共生	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市民に対し、多文化共生意識の啓発を図るための市民のための国際理解講座「カルタ・紙芝居で学ぶ移民の歴史と多文化共生」を開催。	1年	テーマに精通した研究者の話が聞けた	特になし	帝京大学教育学部	中山教授
9	市民活動推進部 多文化共生推進課	教員のための国際理解教育ワークショップ	多文化共生	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市内の小中学校の先生に対し、国際理解教育ワークショップ「多文化共生をめざす内なる国際理解教育の第一歩」を開催。	1年	テーマに精通した研究者の話が聞けた	特になし	帝京大学教育学部	中山教授
10	市民活動推進部 多文化共生推進課	泰山国際マラソン	多文化共生	市の事業に大学等が協力	本市の海外友好交流都市である中国・泰安市で開催される「泰山国際マラソン」に地域23大学等を代表し、法政大学陸上部に出場いただくもの。	1年	中国・泰安市との友好関係が深まると共に、市民交流の促進につながる。	特になし	法政大学	陸上部
11	市民活動推進部 多文化共生推進課	出前講座	多文化共生	大学等の研究事業に市が協力	創価大学より講師の派遣依頼があり、大学の講義の一環として出前講座「多文化共生社会の実現をめざして」を行い、市が取り組んでいる多文化共生推進事業及び海外友好交流都市との交流事業などの説明をした。	1年	次世代を担う若者たちに、市が取り組んでいる多文化共生推進事業及び海外友好交流都市との交流事業への理解が広がったほか、多文化共生意識の啓発につながった。	特になし	創価大学	
12	市民活動推進部 男女共同参画課	附属機関等への女性参画の推進	その他	市の事業に大学等が協力	附属機関等における女性委員の参画率向上を図るため、大学等へ女性教員の紹介を依頼する	必要に応じて	政策・方針決定過程への女性の参画を積極的に推進することにより、男女共同参画の視点に立った行政運営や大学等の地域貢献を推進することができる	女性教員が委員を兼任することが多く、本人への負担が大きくなるのではないか。	首都大学東京 東京家政学院大学 東京純心女子大学 国立東京工業高等専門学校	
13	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画センター運営	その他	市の事業に大学等が協力	男女共同参画センター主催「女と男のいきいきフォーラム八王子」の運営に係る学生ボランティア	必要に応じて	学生の社会参加及び男女共同参画の事業に触れることによる、意識啓発を図る。	特になし	多摩美術大学	
14	総務部総務課	平和推進事業	その他	市の事業に大学等が協力	次代を担う若い世代に、「戦争」「八王子空襲」の記憶継承をし、平和の大切さを感じ取ってもらうため、市でお願いしている八王子空襲の語り部取材をした映像を作成してもらっている。	平成26年度～	八王子空襲の語り部・当時の状況等を映像でわかりやすく作成してもらうことで、戦後70年の「平和展」を中心とした平和啓発事業で、貴重な資料として活用することとしている。	特になし	中央大学	松野ゼミ

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での課題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
15	財務部 契約課	八王子市総合評価方式検討会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	本市における総合評価方式による入札契約制度の見直しに向けて、総合評価方式の評価項目、運用方法等について意見聴取等を行う。	2年	学識経験者としての専門的意見を聴けることで、総合評価方式の制度設計について、中立性及び公正性が確保できる。	特になし	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 創価大学 法学部 拓殖大学 工学部 デザイン学科	朝日ちさと准教授 土井美德准教授 永見豊准教授
16	生活安全部 防犯課	バイク盗難防止キャンペーン	その他	市の事業に大学等が協力	バイク盗の被害が大学生に多いことから、大学生に対して鍵かけを行うよう啓発を行うことで、バイク盗の発件数の減少を図る。 【参考:H25市内バイク盗認知件数】平成25年1月～12月:465件 都内1位	3日間	市内におけるバイク盗認知件数の減少 【参考:H26市内バイク盗認知件数】平成26年1月～12月:245件 都内2位 前年と比べて220件減少	特になし	創価大学 拓殖大学 東京工科大学	
17	市民部消費生活センター	大学教職員向け消費者教育研修会	その他	市の事業に大学等が協力	学生の消費者力向上を目指し、市と大学が連携し、市内大学等の教職員を対象に消費者教育に関する研修の実施	10月14日 10月31日	学生に対する消費生活及び消費者問題に関する情報や知識の提供機会の拡大	特になし	大学コンソーシアム八王子 (市内23校加盟)	
18	福祉部高齢者いきいき課	高齢者活動コーディネーターセンター運営	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	経験や特技等を持つ高齢者とそれを必要とする団体を結びつけるコーディネートを行い、高齢者の社会参加及び生きがいづくりを推進する。 また、社会参加のきっかけとなる講座やコーディネーター養成の講座を実施する。	平成26年9月18日～11月6日 平成27年2月5日～3月12日	専門的分野における講演をいただくことで受講生の意識の向上につながっている。	特になし	桜美林大学 拓殖大学	
19	福祉部高齢者いきいき課	八王子市高齢者計画・第6期介護保険事業計画策定委員会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	高齢者計画・第6期介護保険事業計画策定にあたり、意見聴取及び意見交換を行う。	任期 平成26年4月1日～平成27年3月31日	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行に貢献している。	特になし	淑徳大学 桜美林大学	
20	福祉部障害者福祉課	「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」周知イベント	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	市が制定している「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」を広く周知するため、障害者への理解と差別禁止をテーマとするシンポジウムを毎年開催している。 平成26年度はその3回目となる。	平成26年 10月11日	1. 障害のある学生への配慮や支援について、支援を行う側と受ける側の両方の視点から紹介することができる。 2. 学生をパネリストとして起用することで、若い層にも条例周知を図ることができる。	特になし	法政大学 中央大学	障がい学生支援室 ボランティアサークル「ほのほの」
21	医療保険部 大横・南大沢保健福祉センター 健康部 健康政策課	出張講座	医療・福祉・健康	その他	平成26年度新入生ガイダンスにて、受動喫煙に関する講座を実施	4/3.5	新入生に対し、自身の健康管理について情報提供を行えた	特になし	中央大学	

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
22	医療保険部東浅川保健福祉センター	八王子市保健福祉センター運営協議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	センターの運営に関する基本的事項について協議し、また平成23年度以降は母子保健を中心として、幅広い年齢層へのサービス提供のあり方についても議論を行っている。	2年	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、母子保健・介護予防事業を中心としたセンター運営の推進に生かすことができる。	特になし	東京純心女子大学	
23	医療保険部南大沢保健福祉センター	公衆衛生実習。	医療・福祉・健康	その他	母子保健事業等の見学を通じて、地域での栄養士の実際の活動について学ぶ。	1年	学生の論文作成のフィールドとして協力している。市民の生活や行政栄養士への関心が深まった。	特になし	実践女子大学	生活科学部食生活科学課公衆衛生学研究室
24	医療保険部地域医療政策課	出張講座	医療・福祉・健康	その他	市が抱える課題(保健・医療)と対策、施策等及び、課題対応への大学との連携等について講義を実施	2日間 5月1日 7月11日	市から講師を派遣することにより、大学との連携・協力が得やすくなる環境づくりができた。 ※地域医療政策課長が講義を行うことで、学生が、地域社会に貢献する保健学等を理解することの助けになった。	特になし	杏林大学	・臨床検査技術学科 ・臨床工学科 他
25	子ども家庭部児童青少年課	ボランティア講習会	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	帝京大学教育学部からの講師依頼により、地域福祉活動におけるボランティア活動について講義を行う。	12月	大学生、大学教員に、児童館事業と児童館におけるボランティア活動について理解してもらう機会になった。	特になし	帝京大学	教育学部・学生ボランティア委員会
26	子ども家庭部児童青少年課	命の大切さを学ぶ授業	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	中学校2年生を対象に、地域の連携・協力のもと、赤ちゃんとのふれあい体験、妊婦体験、助産師の講義を行う。	11月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、乳幼児・中学生・保護者との交流を図れた。	特になし	帝京大学 十文字学園女子大学	
27	子ども家庭部子ども家庭支援センター	オレンジリボン活動	その他	市の事業に大学等が協力	児童虐待防止推進月間中に、学生がオレンジリボンを胸に付け、地域子ども家庭支援センター館親子ふれあい広場で、来館者にオレンジリボンの周知・虐待防止をPRした。	1日	1. 子育ては家庭の中だけでなく地域との関わりの中で行われることを、子育て家庭に周知することができる。 2. 将来家庭を築く学生にもオレンジリボンを周知し、児童虐待防止を啓発できる。	特になし	実践女子大学	子育てサークル「子育て応援隊」

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
28	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	クリスマスイベント	その他	市の事業に大学等が協力	クリスマスイベントとして市内の大学が子育てに関するイベント実施	1日	1. 将来子どもに関する仕事に就くことを目指している学生たちが、子育て家庭と触れ合うことができた。 2. 親子で楽しい時間を過ごすことで、育児の負担軽減につながる。	特になし	東京純心女子大学	現代文化学部 こども文化学科
29	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	クリスマスイベント	その他	市の事業に大学等が協力	クリスマスイベントとして市内の大学が子育てに関するイベント実施	1日	1. 将来子どもに関する仕事に就くことを目指している学生たちが、子育て家庭と触れ合うことができた。 2. 親子で楽しい時間を過ごすことで、育児の負担軽減につながる。	特になし	実践女子大学	子育てサークル「子育て応援隊」
30	産業振興部 農林課	道の駅八王子滝山運営会議	産業振興	検討会委員、講師派遣等に協力	道の駅八王子滝山の市民サービス向上と効率的な運営について協議、検討する運営会議の委員を依頼。	任期2年 25年10月～27年9月 年2回	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績などにより、有益な意見が得られる。	なし	杏林大学	
31	産業振興部 産業政策課	中小企業次世代人材確保支援条例に関する意見聴取	産業振興	その他	27年度新規事業について、関係機関である大学キャリアセンターに意見聴取を行った。	平成26年11月	学生側の視点での市の新規事業に対する意見が得られる。	なし	大学コンソーシアム八王子加盟大学等	
32	産業振興部 産業政策課	学生と企業社員の交流支援プログラム	産業振興	市の事業に大学等が協力	学生に市内企業を知ってもらうために、企業社員とのグループワークや企業訪問を行った。	平成26年8～9月、11月の2クール	学生は企業を知ることができ、企業は学生の考え方などを知ることができ、就職・雇用の参考となる。	なし	帝京大学 中央大学・実践女子大学	井上ゼミ 松下ゼミ
33	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	環境	その他	大学から依頼を受け、経済学部授業科目「インターンシップ」を履修している学生を、インターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	特になし	中央大学	

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
34	資源循環部 ごみ総合相談センター	新入生への啓発チラシの配布を依頼	環境	市の事業に大学等が協力	新入生へのごみの出し方などの啓発チラシの配布を依頼	毎年3月頃	学生にごみやリサイクルについて関心をもってもらい、ルールに沿った出し方や分別をしてもらう一助となった	市外に住んでいる学生もいるという点	市内の全大学及び実践女子大・短大・東京家政学院大	
35	資源循環部 ごみ総合相談センター	新入生へのオリエンテーションの際のごみに関する啓発	環境	その他	学生にごみの出し方のルールについて啓発することを目的として、新入生が集まるオリエンテーションの場を借りて市の職員がごみ出しのルールなどの話をする。	年度当初(4月)	新生活をスタートをさせる学生を対象に話をする事で、ごみやリサイクルについて関心をもってもらい、ルールに沿った出し方や分別をしてもらうのに効果がある。	市外に住んでいる学生もいるという点	希望する市内の大学・短大・高専	
36	資源循環部 北野清掃工場	あったかホールまつり	環境	市が大学等にボランティアを依頼	北野余熱利用センターで年1回(11月)地域住民の親睦の場と、ごみ減量、環境啓発を目的とした「あったかホールまつり」を開催している。学生にボランティアを依頼し、環境啓発ブース及びごみ分別ブースでスタッフとして活動してもらった。	11月	学生に環境学習・教育の施策を理解してもらう機会を提供し、市民(学生)と行政協働での環境啓発を行い、学生としての意見を聴取し今後に反映することが出来た。	特になし	東京工科大学	
37	都市計画部 土地利用計画課	八王子市都市計画マスタープランブックデザインの検討	まちづくり	市の事業に大学等が協力	改定する都市計画マスタープランのブックデザインの検討	1年	・学生の新しい感覚で、美術の専門的な視点での提案により、これまでにないデザインの行政計画書が作成できる。 ・学生が提案したデザインのため、若い世代にも計画書を手に取ってもらえる機会が増える。 ・仕事を通じて学生の学業以外における人材育成の場を提供することができる。	特になし	多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科	田口敦子教授 山本博子准教授 グラフィックデザイン学科の学生
38	都市計画部 土地利用計画課	八王子市中心市街地総合再生基本計画策定検討会	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	中心市街地総合再生計画の策定に関する事項を検討し、意見・助言を行う。	1年	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	特になし	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 東京電機大学未来科学部建築学科 横浜市立大学国際総合科学部まちづくりコース都市社会文化研究科	高見公雄教授 遠藤 薫特任教授 中西 正彦准教授

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
39	都市計画部 都市計画課	用途地域等指定方針・指定基準策定に係る懇談会	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	用途地域等指定方針・指定基準策定にあたり、市の検討内容へ意見	1年5か月	専門領域からの知見の提供	特になし	工学院大学 関東学院大学 千葉大学	●工学院大学建築学部まちづくり学科 野澤教授・村上准教授 ●関東学院大学法学部 出石教授 ●千葉大学園芸学研究科 秋田准教授
40	都市計画部 都市計画課	高尾山口駅周辺地区都市計画方針策定に係る懇談会	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	高尾山口駅周辺地区都市計画方針策定にあたり、市の検討内容へ意見	1年1ヶ月	専門領域からの知見の提供	特になし	首都大学東京	都市環境学部 自然・文化リズムコース 川原准教授
41	拠点整備部 中心市街地対策課	大学からの講師派遣依頼	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれの取り組みについて講義を行う。	1年	学生が八王子のまちに興味を持つきっかけになり、まちづくりに関わり始める学生も現れた。	特になし	創価大学	経済学部 長谷部ゼミ
42	拠点整備部 中心市街地対策課	大学からの講師派遣依頼	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれの取り組みについて講義を行う。	1年	学生が八王子のまちに興味を持つきっかけになり、まちづくりに関わり始める学生も現れた。	特になし	杏林大学	総合政策学部 久野ゼミ
43	拠点整備部 中心市街地対策課	大学からの講師派遣依頼	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、公務員としての仕事についてや、中心市街地の現状と活性化のための官・民それぞれの取り組みについて講義を行う。	1年	八王子市外の大学(大学生)に、一地方行政職の八王子の魅力ややりがいを伝えることができた。また、学生目線の活性化策は大変参考になった。	特になし	立教大学	経済学部 企画講座G
44	拠点整備部 中心市街地対策課	大学からの協力依頼	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、中心市街地の民間企業と協働で行っている、優れた民間事業主へのインタビューにおいて、その事業主の紹介を行った。	1年	事業主へのいんたびゅーを通じて、学生が普段訪れない商店街の個店を知るきっかけとなった。	特になし	法政大学	現代福祉学部 図司ゼミ

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
45	拠点整備部 中心市街地対策課	大学からの講師派遣依頼	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	大学からの依頼に基づき、2050年の八王子駅前の姿」をテーマにしたランドスケープデザイン演習の基礎知識としての中心市街地の現状と各種取り組みについて講義を行う。	1年	当演習を行うに当たって必要な情報を提供することで、研究の発展に寄与した。	特になし	東京大学	工学系研究科 都市工学専攻 三島ゼミ
46	拠点整備部 中心市街地対策課	中心市街地イベントへの協力	まちづくり	市が大学等にボランティアを依頼	まちづくり会社によって中心市街地で開催された食べ飲み歩きイベント「パルベリー八王子」の実行委員会メンバーとしてイベントへの協力を依頼。	1年	学生が、普段関わることのないまちに直接関わることで、中心市街地の人や店を知ることができ、八王子に対する愛着が深まる効果があった。	特になし	杏林大学	総合政策学部 久野ゼミ
48	まちなみ整備部 住宅政策課	団地再生	まちづくり	大学等の研究事業に市が協力	URの団地グリーンヒル寺田を活性化する学生のプロジェクトに参加し、住宅政策の立場から学生を支援(助言)した。	1年	ワークショップで企画されたイベントが学生によって実施された。団地の住民と学生の交流の場が作られ、団地再生のきっかけとなった。	特になし	法政大学	・保井ゼミ ・多摩地域交流センター
49	まちなみ整備部 住宅政策課	インターンシップ生の受け入れ	教育	その他	大学生をインターンシップ生として受け入れしている。	10日	・まちづくりに関心のある学生を受け入れ、住宅政策をはじめとするまちづくり全般に対する理解を深めてもらった。 ・学生の意見・提案に直接触れる機会となった。 ・職場の活性化と職員の指導育成能力が向上した。	特になし	法政大学	
50	道路交通部交通事業課	自転車駐車場管理運営	まちづくり	市の事業に大学等が協力	大学の新生入生向けガイダンス時に、市が用意した自転車駐車場の適正利用についてのリーフレットを配布依頼し、配布した。	新入生入学ガイダンス時	1.新生入生向けのガイダンスで配布したことにより、新生入生に対する啓発に繋がった。 2.各大学との連携を深めることができた。	特になし	中央大学 明星大学	
51	議会事務局庶務調査課	議会報告会開催ポスター	その他	市の事業に大学等が協力	議会報告会開催のポスターとチラシを大学へ送付し、掲示を依頼。	年1回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	特になし	地域23大学等	

調査票A-①(平成26年度連携実績) : 平成26年4月1日～平成27年3月31日の期間に、新規で大学等と連携して取り組んだ(又は取り組む)研究・調査・事業等

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
52	議会事務局 庶務調査課	市議会だより 表紙写真募集 ポスター	その他	市の事業に大 学等が協力	市議会だより表紙写真募集のポ スターとチラシを大学へ送付し、掲示を 依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもら い、積極的に参加を呼びかける。	特になし	地域23大学等	
53	生涯学習スポーツ 部こども科学館	科学実験 ショー	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	オリエンテーションホールで、来館者 に対して、科学実験ショーを開催。	2015/1/17	1. 本館のPRならびに、来館者を楽 しませることが出来る。 2. 学生にプレゼンテーション等を行 う機会を提供できる。	特になし	東京大学	サイエンスコ ミュニケーショ ンサークル C AST